



二次交通、宿不足に活用 カートラベルと遊休地の 可能性について

一般社団法人

日本カートラベル推進協会

2019年10月15日

普通乗用車～トレーラハウスまで

広がるカートラベルの市場

1. キャンピングカーの保有台数は約11万～15万台
2. 車中泊経験者は免許保有者の約半数
近年のVANLIFEブームも後押し（#約500万）
想定値でも数百万（300-500万人程度）
3. クルマでタビする＝アウトドアユーザーは
約800万人超える。その他ドライブの延長も
多く、クルマでのタビでの利用者多数
4. 日本のクルマの登録台数は約8,000万台。
それに対して、カートラベルを軸とした
利用者が増えてきている。



約1,000万台以上のタビに最適な車輌を視野に入れています

“Car & Travel（愛称：カートラ）”のコンセプト

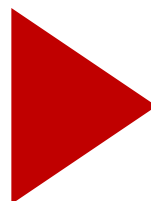
**クルマで遊ぶ。
クルマに泊まる。
あなたのアイデアとツール次第で
カートラベルはもっと楽しくなる。
ひとりで。だれかと。みんなで。
行きたいところへ。好きなときに。**

**電車や飛行機ではないタビのスタイル
クルマといっしょに旅をしよう。**

**クルマといっしょなら、
ドライブはもっと自由なトラベルになる。**



“クルマ”の機能面だけでなく、もっと“クルマと旅”に楽しさを



クルマとの色々な遊び方を
知れば人生はもっとは自由で豊かになる



JCTAは“クルマと旅”のコト文化を普及啓蒙する団体です

(一社) 日本カートラベル推進協会 (略称: JCTA)

設立目的

クルマとタビする 都心と地方をつなぐ

社会課題

「車離れ」「地方過疎化」「宿不足」「二次交通」「車中泊マナー」「二次被災」など

ミッション

車中泊を含む「カートラベル」の普及で、時間や場所など「旅の自由度」を広げ、2次交通問題や宿不足の改善で地方創生を促し、災害時はシェルターにもなる

【改善1】カートラベル普及啓蒙

クルマと旅するコトの
楽しさ・魅力の啓蒙

カートラベル普及啓蒙委員会

【改善2】インフラの整備

クルマと旅する際の
宿泊場所の整備・拡大

カートラベルステーション委員会

【改善3】マナーの啓蒙

クルマと旅する際の
マナーの啓蒙

マナー啓蒙委員会

【改善4】地方創生

都心と地方を
クルマでつなぐ

地方創生委員会

災害

啓蒙イベント

イベント実行委員会

<開催> 2019年9月20日(金)～22日(日)

カートラ
ジャパン

カートラ
屋内

×
カートラ
屋外

in
幕張メッセ

2020年

全国展開

2021年

拡大加速

2019年～2021年にかけての「カートライイベント」

※写真はイメージ

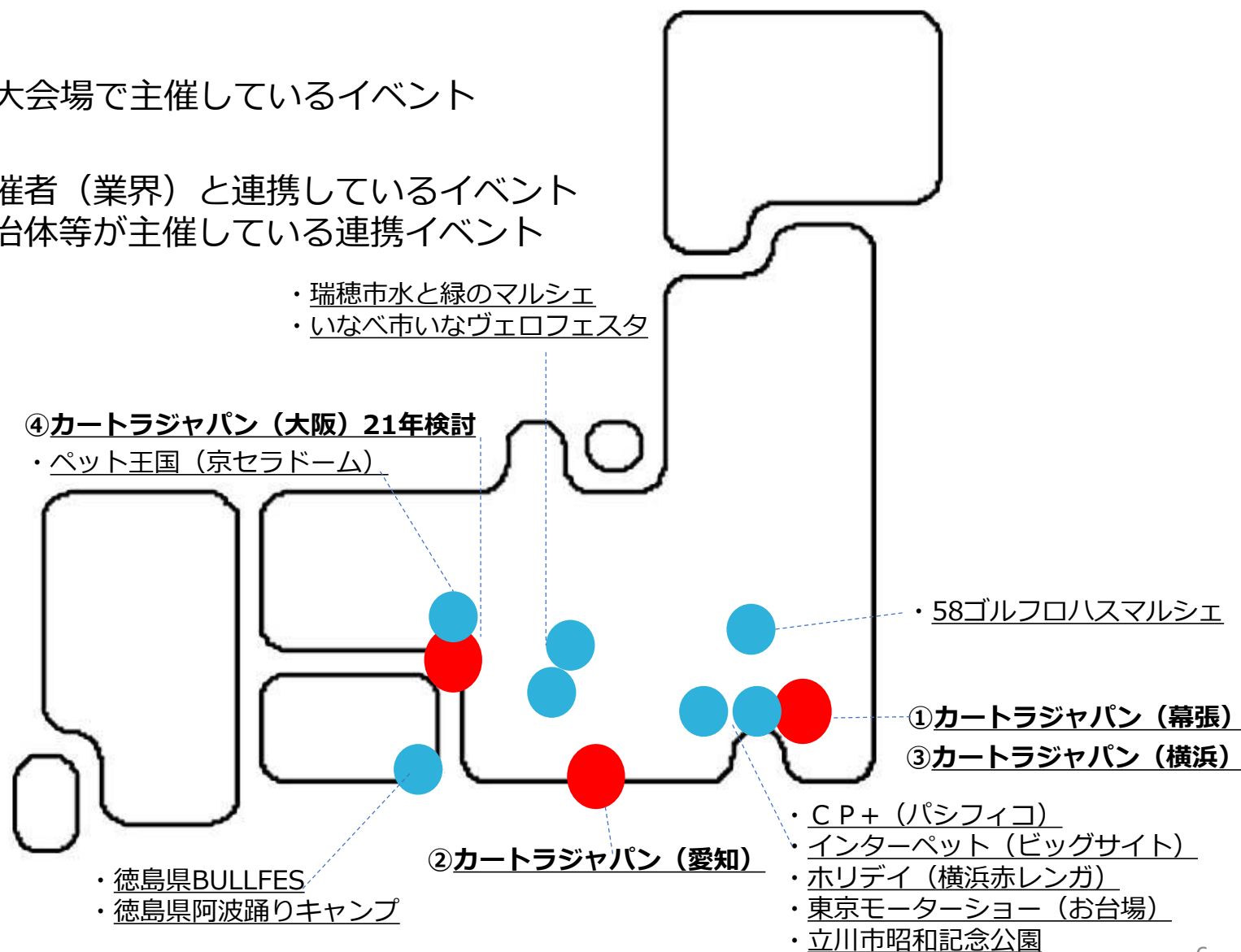
都心、地方、業界などの垣根を越えてカートラベル普及を啓蒙！



= 展示会・大会場で主催しているイベント



= その他主催者（業界）と連携しているイベント
または自治体等が主催している連携イベント



カートラジャパンは“発見と体験”が融合した“モノコト”イベント

幕張メッセ7-8ホール

INSIDE

発見

クルマ

パーツ・ギア

レンタル・シェア

トラベル

アクティビティ

モノとコトとの出会う場所

幕張メッセ10-11ホール外会場

OUTSIDE

体験

遊

泊

感

食

学

“カートラ”の世界は会場の屋内（INSIDE）でも、屋外（OUTSIDE）にも

INSIDE

発見

幕張メッセ7-8ホール（屋内）

CT車両展示

「カートラベル」を楽しめる
多彩なCT車を展示
レンタル/シェア車もいっぱい



VAN LIFE

世界中でブームを巻き起こして
いる「VAN LIFE」の世界観を
会場内に再現します



車中泊ギア

快適な車中泊に欠かせない
様々なアイテムが大集合！
機能性の高いギアを展示します



防災車両

いざという時に安心な
シェルターも展示
海に浮かぶ防災車両も登場



『カートラベルスポット』モデル展示

「車中泊」を安心して楽しめる「カートラベルスポット」の
デモ版を会場内に初展示。JCTAでは、クルマの旅の過程で
安心して車中泊ができる中継地を全国に整備してゆきます



ステージ展開

カートラでとても大切な
車中泊マナー講習など
様々なステージを展開



旅先情報（地方創生）

全国からご当地の魅力を発信！
旅先情報ブースも展開



「カートラジャパン」注目のコンテンツ

※一部予定を含みます。写真はイメージ。

OUTSIDE

体験

幕張メッセ 屋外

電動バイク



各種試乗



洗車体験



BRP



長い夜を楽しむために「ギア体験、フード、のみもの」に力をいれます！



「カートラジャパン」注目のコンテンツ

※一部予定を含みます。写真はイメージ。

OUTSIDE

体験

幕張メッセ 屋外

アーバンキャンプ



野外ステージ



キャンプカレー



お笑いライブ



キャンプBBQ



音楽ライブ



野外シアター



天体観測



車中泊体験



朝ヨガ



ドラムサークル



保護犬とのふれあい



JCTA理事のご紹介

JCTAは、多くの業界・分野のエキスパートで構成されています

会長 田嶋 伸博



理事 藤野 宇一郎



理事 川崎 康一郎



理事 大原 邦彦



理事 蜂谷 慎吾



理事 村越 信彦



理事 王 伸



理事 川田 智志



理事 野瀬 勇一郎



理事 宮下 晃輝



監事 高橋 一聡



主要会員企業

IDOM Inc.



ワンズレンタカー



キャンピングカー販売&レンタカー
NEXT LIFE



“カートラベル”の普及メリット

カートラベル（車中泊での旅）の普及メリットとポテンシャル

時間的メリット

「車中泊」をすると出発時間やチェックインを気にせず旅行できる



旅先メリット

電車や飛行機では往来できない観光地以外の場所にも訪問できる



移動空間メリット

家族やペット連れも周囲を気にせず移動や宿泊



カートラベルで生まれる「自由な旅」

時間の自由

時間（休日）の効率活用

渋滞の回避

旅行プランの選択肢拡大

旅先の自由

二次交通問題の改善

宿不足の改善

観光地以外への旅

移動中の自由

家族や仲間とのコミュニケーション

ハンディキャップへの旅行実現

ペットとの旅行

そして、正しい「カートラベル」（車中泊）体験は、災害時にも役立つ

JCTAは“カートラベル”のルール順守・マナー啓蒙に積極的に取り組みます



運転中 ×
車内泊 ×
旅先 ×

JCTA (車)
Japan Car Travel Promotion Association
日本カートラベル推進協会

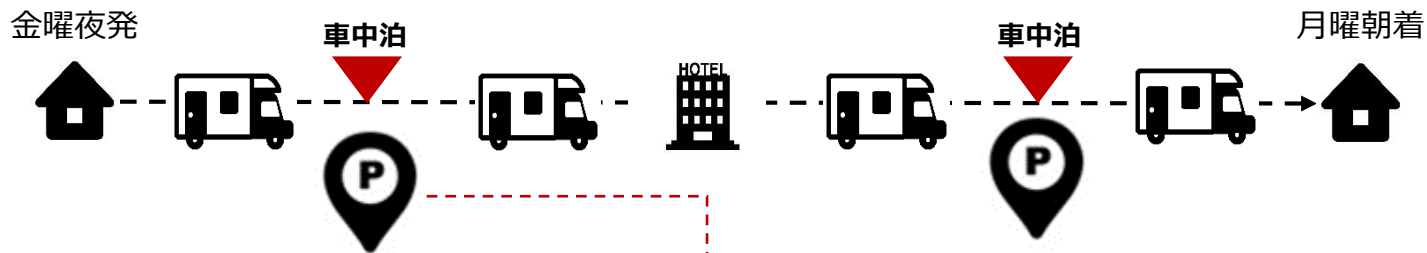
Car Travel Manner

カートラベルマナー基礎編

- ① まずはカートラベルを楽しもう
- ② 駐車場などではキャンプ行為をやめよう
- ③ 非常時以外はエンジンを停止しよう
- ④ ゴミは持ち帰えろう
- ⑤ 車外への音漏れに注意し、周りに配慮しよう
- ⑥ 車いすマークの場所では停泊をやめよう
- ⑦ 大型車スペースでは、周りへ配慮しよう
- ⑧ 施設のルールを遵守しよう
- ⑨ カートラベル中は“ありがとう”を表に出そう



JCTAは“カートラベル”の拡大に向けてインフラ整備に積極的に取り組みます



遊休地 ×
空駐車場 ×
夜間活用 ×

JCTA (車)
Japan Car Travel Promotion Association
日本カートラベル推進協会

Car Travel SPOT

安心で安全なクルマと旅の中継地



今後の展開について

JCTAは“カートラベル”の楽しさを地域と連携して広めてゆきます



Car Travel
CAMP
Package

地域連携 × JCTA (車)
Japan Car Travel Promotion Association
日本カートラベル推進協会

Car Travel CAMP

各地域と連携した誘致に魅力的な
キャンプパッケージを全国展開

モーターホームが集結することで
ご当地消費の活性化にも貢献します

JCTAは、二次交通・宿泊不足などの諸問題を改善し、地方創生にも貢献します

今後の展開について

JCTAは“カートラベル”のスポットのご案内をしています



JCTAではカートラベルに必要な「車中泊」「遊び」などのスポットの情報約100カ所程（9/10現在）紹介しております。詳細情報は各施設にリンクをしておりますのでお問い合わせください。



HIROYAJIテラス



富里キャンプ基地



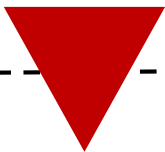
古民家みなみ



自宅出発



(車中泊)
カートラベル
のスポット



宿との併用



帰宅



JCTAは、スポットを紹介していくことで都心から地方へ送客を図ります

今後の展開について

地方創生／楽しさ広げる／カートラベル

例 1：全国のゴルフ場の活用

- ・カートラベルスポット
- ・イベント開催（アウトドア・FES）
- ・クルマ、アウトドア、ペット等



例 2：全国の廃校の活用

- ・カートラベルスポット
- ・宿泊・飲食施設との連動
- ・地域コミュニティとの連携



カートラベルで実績加速（一極集中型）



■こすげの湯

■道の駅こすげ

■フォレスト
アドベンチャー

■RVパーク



国道から離れた道の駅なので静かに泊まれる
山の中の星空が美しい



■フォレスト
アドベンチャー

「導入後のメリット」

- ・来村数20%増加
- ・施設売上20%増加
- ・メディアでの取上げ40%増加
- ・今後もカートラベルに積極的に
向き合っていく



■道の駅こすげ

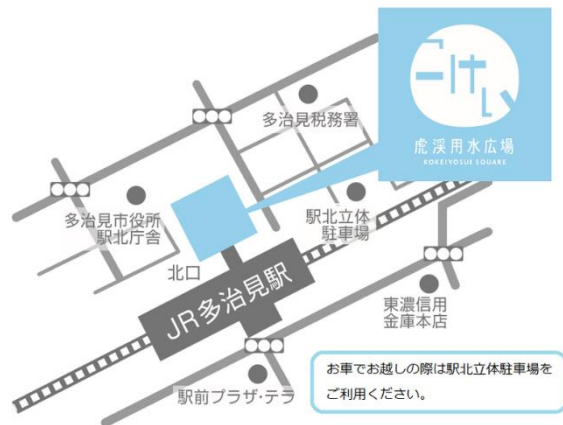


■こすげの湯

村民718名の町に数千人規模のカートラベルユーザーが来村！

多治見駅前虎溪用水広場（予定）

多治見駅前の「虎溪用水広場」の活用



- JR多治見駅前
- トイレ、コンビニ、お風呂施設、商店街、サイクルシェア等あり

- 点線部分にクルマを駐車・スポットに

- カーステイ仕組活用



虎溪用水広場をスポット活用として

広がる多治見エリアでのカートラのスポット（予定）

オール多治見での活用

「商店街駐車スペース」

- 商店街にある駐車スペース解放
- 民泊の駐車スペースの解放
- ※ トイレ、お風呂などは中を活用



「虎溪山駐車スペース」

- 大型駐車場一部にカートラのスポット
- 国宝文化財ふたつ、それ以外にもお寺めぐり
- 駐車、トイレ完備



「天の湯」

- 多治見駅から徒歩5分
- 日帰り温泉施設 トロン温泉天の湯
- 温泉施設内の駐車場スペースを検討
- 近隣にコンビニエンスストア



虎溪用水広場から、多治見市全域にひろがる

ネクスコ中日本施設（予定）

テラスゲート土岐 & 鈴鹿パーキング

テラスゲート土岐／ネクスコ中日本所有



温泉施設



物産・食事処



H C



ランドリー

駐車エリア一角にスポット創設計画

鈴鹿パーキングエリア／ネクスコ中日本管理部分



当施設の従業員駐車場（施設隣接）にカートラのスポットの創設。気軽に、気兼ねなく、車中泊することが可能。24H施設営業、シャワーも完備。計画中。

カートラベルのスポットとして

新庁舎を最大限活用！

新しい時代「令和」とともに幕明けした新庁舎

2019年5月18日OPEN！

にぎわいの森

Inabe Hütte【いなべヒュッテ】

新庁舎に隣接する



- 市内は二次交通、宿数に課題あり
- 新庁舎自体を集客できる建物に
- にぎわいの森併設
 - ・名古屋で行列できる各飲食店舗等を誘致
 - ・毎日とまならい集客とメディア取材
- 市内でのカートラベルを推奨。
そのために新庁舎でのカートラベル利用促進



新庁舎がカートラベルの拠点となる！

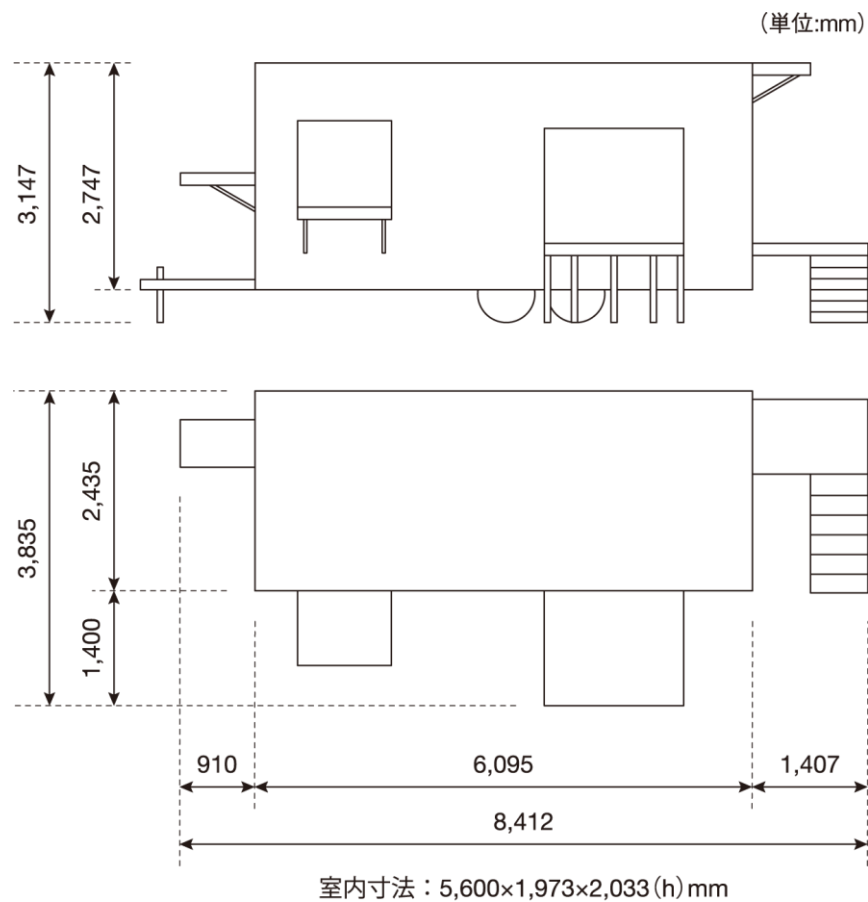
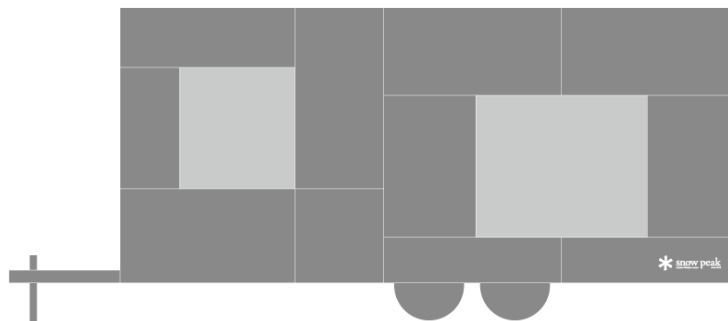
ホテル施設 + α の体験促進！

京急観音崎 通常のホテルに加えてスノーピーク
トレーラの住箱 + R V パークで大人気！！



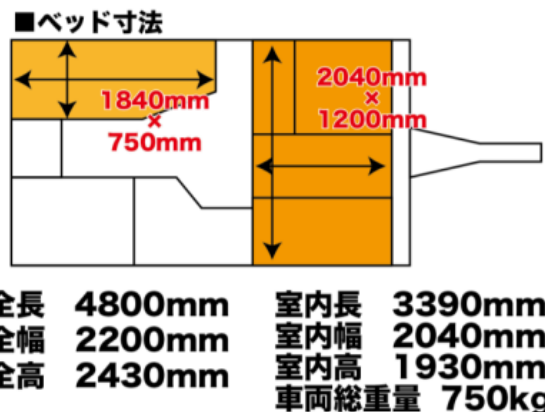
住箱が最適！（JCTAパートナー）

住箱



MOBIHOが最適！（JCTA会員）

低価格で導入・3か月以上のトライアルも可能。



小湊鐵道にMobiHoがやってきた！

養老溪谷駅

逆開発エリアに泊まれる！

2台完備

ご予約は、こちらから

www.mobiho.jp



収容人数 大人3人／子供1人（最大乗客人数）
宿泊費用 全・土・日・祝前日 ¥6,000 / 平日 ¥5,000

※宿泊料金は、宿泊人数にのべたMobiHo1台あたりの金額です。1台あたり¥5,000です。

地方創生への働きかけ



×イベント
×スポット

Regional creation

カートラ地方創生イベント開催

キャン
ピング
カー泊

車中泊

テント
泊

企業
出展

フード

遊び
体験

物産
販売

農業
体験

アトラ
クシ
ョン

花火
天体観
測等

STEP 1

打ち上げ花火的なイベントで
カートラベル需要の確認

STEP 2

カートラベルとの親和性を
確認頂いたらスポットの設置

STEP 3

地方へ「ヒト」が継続的に
流れる事での経済効果向上

カートラ施設の設置等

カートラベル
スポットの設置
・車中泊
・キャンピングカー泊
・テント泊
・トイレ・お風呂



カートラ
ユーザー送客

1. 経済効果
来訪数、施設売上の向上
2. 地域の魅力を
再発見させ、
移住等の促進を
図ることができる。

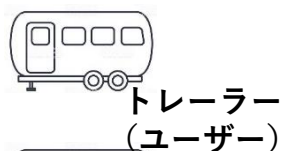
JCTAは、イベント支援、スポットを広げることで、地方創生にも貢献します

移動型ホテル／集落の構想

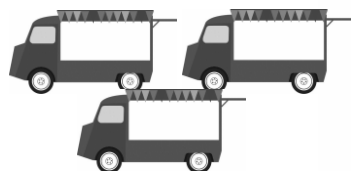
遊休地等

朝一番には
なにもない
状況

なにもない
所に集落が
できる



キャンピングカーエリア
(ユーザー)



キッチンカー



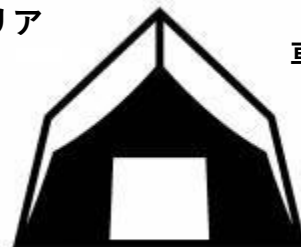
キャンピングカーエリア
(レンタル)



車とテントエリア
(ユーザー)

物産用テント

テントエリア
(ユーザー&レンタ
ル)



大型テント
食事・ステージ等

- ドッグラン
- 各種アクティビティスペース
- キャンプファイア
- フェス・音楽エリア



ターゲットは大きく2つ

1. 国内観光利用者



電車・飛行機ではない
クルマならではの
旅の嗜好者

- 家族連れ／クルマ持ち／比較的富裕層／多趣味／旅好きの方々
- 訪日外国人の増加に伴い、ホテル不足、ホテル高騰化で流れる
- アクティブシニア、ファミリー層
- クルマか、テントで自身の宿泊手段をもっている人たち
※個別での宿は不要 ※宿の競合にはならない
- 飲食、物産購入、各種施設利用にお金を使う
- レンタル、シェアリングユーザーも送客していきます

2. 訪日外国人



- 来日5回以上の方々を想定（日本リピーター）
- 欧米、香港、台湾、韓国の方々に国際免許を所有されている
- 比較的裕福で、旅にオリジナリティを求めている
- ご夫婦、カップル、ファミリー、シニア層で大体、2-5名で大荷物をもって移動するのを嫌う
- 日本の自然、文化、コミュニケーションを好み、SNSなどの拡散力をもっている。

JCTAは、ターゲットを絞ることで、地方創生にも貢献します

今後の展開について（地方創生に大きな影響力をもつ催し）

1. 2019年ラグビーワールドカップ需要



ラグビーワールドカップ2019日本大会では、開幕戦から決勝まで、全48試合が行われます。全国12の開催都市で、20のチームが戦います。ここでは、プール戦の全40試合の見どころをご紹介します！

- 札幌・釜石・熊谷・東京・横浜・静岡・豊田・東大阪・神戸・福岡・大分・熊本の12都市
- 前回大会では約300万人のファンが海外から来た。
- 大都市以外の地方で、試合が行われるため、移動、宿泊、試合前後の観光等需要が拡大している。
- 特に、地方の宿泊場所の確保は大きな課題となっている。

2. 2020年オリンピック・パラリンピック需要



- 2020年訪日外国人は約4,000万人来日されるといわれている。
- そのうち約60%は1度以上、来日経験がある。
- 全国でも、首都圏でも宿不足、宿の高騰化が考えられる。
- 宿不足を解消するために、クルーズ船やコンテナの活用が期待されている。
- クルマ、カートラベルを活用した集落・移動型ホテルなどはその需要にこたえられる（設置、撤収スピード、費用、話題性等）
- このような事例を増やすことで災害時に仮設住宅代用の提案が可能である。



2025年には大阪万博も行われ「宿泊場所の不足」が予測されます！

移動集落・移動ホテルの設置実現のために

JCTA^(🚐)

Japan Car Travel Promotion Association

日本カートラベル推進協会

- 企画・制作
- 準備・設営・運営
- 集客・告知
- 事務局
- レンタルキャンピングカー
 - レンタル車中泊車輛
 - レンタルテント
 - レンタルトレーラー
 - レンタルトレーラーハウス
 - 各車両の手配
- その他コーディネート全般



地方創生支援コンソーシアム構想

各企業と連携加速！

スポーツ支援企業

地方支援企業

旅行企業

デベロッパー

自動車業界企業

JCTAは、大型祭典を機会に地方創生に貢献します

今後の展開について

各都道府県や自治体との連携強化

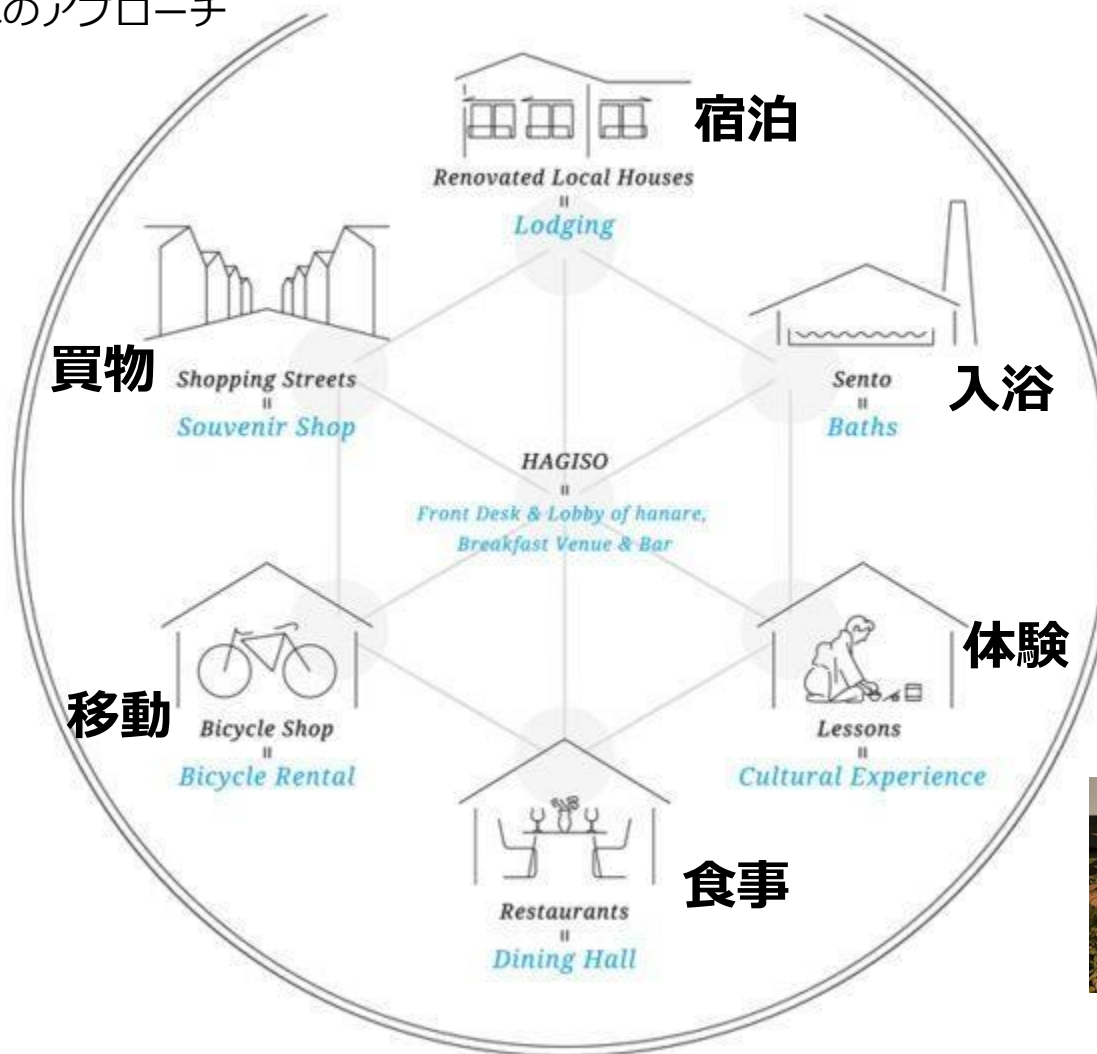
都道府県	市区町村	内容	備考
徳島県		阿波踊りキャンプ、その他イベント	
愛知県	名古屋市	金城埠頭付近含めてポートメッセとその待ちでの連携計画	
三重県	いなべ市	イベント・スポットなどを中心に	
岐阜県	瑞穂市	2019年5月にイベント連携。その後、スポットの設営を検討。	
	多治見市	スポット・催し企画	
	恵那市	スポット企画	
	可児市	ご検討中	
長野県	小谷村	ご検討中	
山梨県	小菅村	R V パーク設置、年間3500組のカートラベルユーザー来村	
愛知県	豊橋市	ご検討中	
茨城県	つくば市	ご検討中	
栃木県	矢板市	2019年4月にゴルフ場イベント（済）	
滋賀県	米原市	ご検討中	
福島県	南相馬市	ご検討中	

アルベルゴ・ディフーゾ

新たに宿泊施設
二次交通のインフラ
整備ができない地方
へのアプローチ

町 = ホテル

The Whole Town = Your Hotel



地域に散らばっている空き家を活用し、建物単体ではなく地域一帯をホテルとするイタリア発祥の取組「アルベルゴ・ディフーゾ (Albergo Diffuso)」。

アルベルゴ = 宿、ディフーゾ = 散らばっているという意味で、直訳すると「散在する宿」です。

日本では矢掛町が「アルベルゴ・ディフーゾ・タウン」に認定されました。

これは、宿泊施設「矢掛屋」が「アルベルゴ・ディフーゾ (分散型ホテル)」に認定されたことに併せて認定されたもので、世界初の認定となります。6月12日には、イタリア・アルベルゴ・ディフーゾ協会のジャンカルロ・ダッラーラ氏が来日し、認定書を山野町長に交付しました。

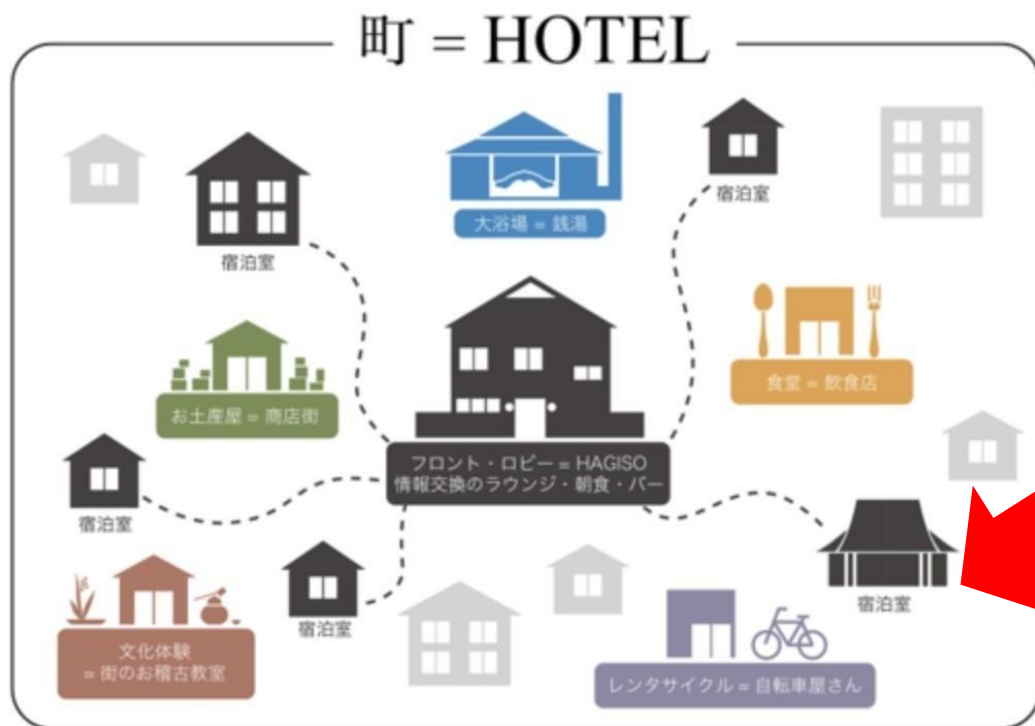


アルベルゴ・ディフーズの課題

課題：空き家・古民家などが多数ないといけない
また、リノベーションなどの費用もかかり、実走するまでに時間がかかる。

2019年ラグビーワールドカップ 2020年オリパラ開催
2025年大阪万博開催 ※国際的なイベント目白押しの日本

改善：モビリティの活用を検討して頂きたい！



居住スペースを活用できる



キャンピングカーは
ほぼホテルと同様の
機能をもっている。



ルーフトップテント



テント



車中泊

Carstay(カーステイ)活用による「車中泊」のコンテンツ化

What is Carstay?

Carstayは、快適に車中泊・テント泊をして車旅を楽しみたいゲストと、車両・文化体験・駐車場を提供したいホストをつなぐシェアリングサービス



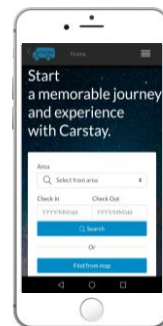
スマホでかんたん予約



旅費を抑えて特別な体験を



多言語で周辺地域を案内



イベント導入事例



車中泊
保険



MS&AD

三井住友海上



「車中泊」「テント泊」コンテンツのイベントへの導入

多言語案内

検索・予約

クレカ決済

保険サービス

Q. 車中泊をイベント導入するのはリスクが高いのでは？

利用者の怪我や施設の破損等を最大1億円補償する、三井住友海上(株)とCarstayが共同開発した「車中泊保険」がCarstay利用者と施設には自動付帯されるので、安心してイベントへの導入が可能になります。

Q. Carstayは旅行業登録が必要なのでは？

駐車場&レンタル車両の手配は、旅行サービス手配業に該当しない(Carstayが東京都産業労働局観光部振興課旅行業担当者様に確認済み)ため登録不要と考えます。
(⇔常設の宿泊目的のトレーラー等の手配業務は旅行業に該当するためCarstayでは取り扱っておりません)

今後の展開について

カートラベル×地域 「あるべき姿」とは（九州周遊観光サービスモデル事業から引用）

日本の豊かな自然や文化、歴史、温泉などの魅力。新しい旅のカタチ「車泊（くるまはく）」で表現したいことは、**その地域でしか体験できないコトを伝えること。すなわち、その地域に来ないと味わえない価値を創ることが理念。**そのためには、**着地型観光の拠点となるような安心・安全に車泊ができる場を創出すること。**



地元の美しい景色、美味しいグルメ、温泉や地域の人のおもてなしにより、**インバウンド含む全てのお客様の「旅」の思い出になりたい。**

カートラベルにやさしい「まち」宣言！5月13日開催。

〇〇市 「カートラベルにやさしいまち宣言」

わたしたち〇〇市は電車、飛行機での旅に加えて、クルマでの旅（＝カートラベル）旅行者にたいして、よりよい環境、市内情報などを提供し、より利用しやすい環境づくりに力をいれていきます。

宣言：カートラベルのスポットを広げていきます。

宣言：カートラベルに必要な観光情報の開示をします。

**宣言：カートラベルの普及啓蒙に必要な催しを企画
実行していきます。**

地方創生支援コンソーシアム構想にご参加ください

カートラベルにやさしいまち宣言を
軸に、宣言を頂いた市区町村を
全国的に中広域でつないでいきます。

クルマを活用したトラベルを推奨し、
「国内旅行者」「訪日外国人」利用
促進を目的に、様々な自治体、並びに
事業者をつないでいきます。

是非、この中広域をつないだ
コンソーシアムにご賛同ください。



今後の展開について

5月13日都道府県会館にて「カートラベルにやさしいまち宣言」



<参考資料> “カーtravel”を取り巻く関連市場の状況

“クルマと旅”に関するトレンド

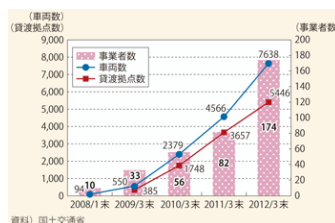
キャンピングカー10年で2倍

日本のキャンピングカー総保有台数は約10万400台で10年前の2倍に（日本RV協会調べ）



レンタカー市場急拡大

レンタカー型カーシェアリングの事業者、車両、貸渡拠点は年々大きく増加（国交省）。レンタル・キャンピングカーも急激に増加。



アウトドア市場好調

アウトドア市場規模は4,274億円と推計（矢野経済）。キャンプやハイキング、釣りなど「ライトアウトドア」が全体の半分以上を占める。

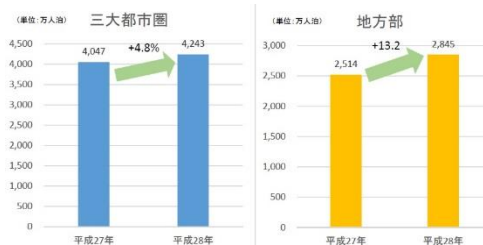
図1. 2016年アウトドア市場スタイル分野別構成比 ReseMom



注1 販売金額ベース
注2 すべてのマリンレジャー（マリンスポーツ、釣り等）、ウインタースポーツ（スキー等）に関する商品、施設、サービスは含まない。

地方部への宿泊者が増加

2016年は、三大都市圏で4.8%増、地方部で13.2%増となっており、地方部の伸びが三大都市圏の伸びを大きく上回った。（観光庁）



カーシェアリング急増

カーシェアリングの車両台数と会員数は、11年以降急激に増加し始め、現在約45万人に（交通エコロジー・モビリティ財団）

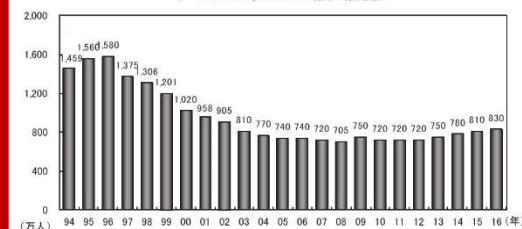
▶図1 わが国のカーシェアリング車両台数と会員数の推移



オートキャンプ人口が増加

オートキャンプ参加人口は、830万人で前年比2.5%増、参加人口は4年連続で上昇（オートキャンプ白書2017）

オートキャンプ参加人口の推移（推定値）



ご清聴ありがとうございました

是非、クルマとタビ

都心と地方をクルマでつなぐ

日本の遊休地の活用

ご一緒できたらとおもいます

ご清聴ありがとうございました

**カートラジャパン実行委員会
事務局**

担当：萩屋、佐藤、鈴木、竹倉、大手山、野瀬

TEL：03-6812-9426

Mail：contact@jcta.jp